




第2学年3組 学級活動指導案

1. 日時・場所 平成30年6月6日(水) 5校時(13:40~14:25) 2年3組教室
2. 議題「わくわく なかよしかいをしよう」

学級目標

みんな  な  よく

たの  く ベんきょう

3. 議題について

(1) 児童の実態

素直な子どもたちで、さまざまなことに意欲的に活動する児童が多い。また、友達を大切にし、助け合う姿が見られる。新しい学年、クラスがスタートして2か月が経過し、毎日明るく元気に挨拶をしたり、自分の気持ちをはっきりと言ったりする児童が多い。しかし、場に応じた話し方、聴き方、相手を意識した関わり方のスキルや配慮のスキルが不足している児童も多い。

係活動では、学級開きの際、当番活動と係活動の違いについて説明した。かざりかかりや、おたすけかかり、ほけんパトロールかかり、おんがくかかりやあそびかかり等ができた。「もっと楽しくしたい、工夫してみたい。」という気持ちで取り組むことができている。特に、あそびかかりが中心となって、「全員遊び」にも取り組み、みんなで遊ぶことのよさを実感している。また、自分たちの生活をよりよくしたいという意欲も高く、みんなで掃除を時間内に終わらせたり、給食を残さず食べたりするなど、協力して生活する姿勢が見られる。

4月下旬に「どんなクラスにしていきたいか」について話し合った。その中で、「クラスのみんなと友達になりたい」という児童の思いが明確になった。そこで、「もっと仲よくなるにはどうするといいいかな」と投げかけると、「相手の気持ちを考える」「やさしく接する」「楽しいクラスにする」「勉強をがんばる」など様々な意見が出た。そうした子どもたちの意見を最終的に分かりやすくシンプルにまとめ、学級目標を「みんな なかよく たのしく ベんきょう」とした。

学級目標の中には、「なかよし」の言葉も含まれ、児童はこの学級目標に向かって1年間頑張っていこうと学級が動き出したところである。これまでの学級活動は、昨年度1年生の時には約8回の学級会を経験してきた。学級会のルールや話し合いの進め方について学んできた。話し合う際には、自分の考えを表現し、しっかり聞き合い司会や記録の子どもたちが進めるだけでなく、困った時は皆で助け合うということを大切にしてきた。また、学級会を通して、集会などを計画し、ひとつの活動を協力してつくりあげていく経験をしてきた。2年生では今回が第1回目の学級会である。話し合いの中では、友達の意見を聞き、自分の意見を言えるようにして学校生活を楽しくするために合意形成していく経験は浅く課題があるが、出された意見から、「似ているもの、合わせられるもの」等様々な意見のよさを生かして、みんなが納得できる話し合いの方法を学び、頑張っている段階である。

(2) 議題選定の理由

本議題は、4月の生活科「2年生だ うれしいな」という単元において、「どんな2年生になりたいか?」という課題があった。そこで、「1年生のお手本となって、かっこよくべんきょうしたい。」「みんなと、いろいろなことに挑戦したい。」「友だちをふやしたい。」という思いを持った。そして、「1年生にどんなことをしてあげたいか。」という課題では、「休み時間にいっしょに遊んであげたい!」「ランドセルのしまい方を教えてあげたい。」「折り紙を教えたい。」「1年生をわらわせたい。」「歌をプレゼントしたい。」「もっとなかよくなりたい。」など、さらに意見がたくさん出た。その中で、5月2日、初めての交流で、1年生と学校たんけんを行った。一緒に手をつないで学校の中を案内し、一つ上のお兄さんお姉さんとして立派

に行動することができた。1年生との交流の初めの一步を踏み出したところである。さらに、5月19日の運動会では、1、2学年合同で冒険をテーマにした踊りを練習し、そして本番も一生懸命頑張った。これらの経験を生かし、1年生との交流の機会をたくさんつくり、もっと仲よしの輪を広げてほしいという願いを児童に伝えたところ、児童から、「1年生とのなかよし集会をしたい」という子どもの発言が出た。それを議題につなげ、選定した。

今回の話し合い活動では、2年生の段階の合意形成の難しさも予想されるが、自分の意見をしっかりと伝えることに加えて、友達の意見をよく聞いて相手意識をもたせて話し合いをすることを大切にしていきたい。

比べる段階では、自分の考えと比べながら聞くだけではなく、もっとよいものはどれかを常に考えながら聞き、様々な意見のよさを生かして、出し合った意見の中で、「似ているものはどれかな。合わせられるものはあるかな。」と工夫して考えていけるように教師が声掛けしていきたい。反対意見が出た場合でも、「あなたならどれがよいと思いますか。」と聞き、プラス思考の話し合いが展開できるように支援していくようにしたい。

まとめる段階では、一部の児童のやりとりで決定したり、反対意見ばかりの消去法のように、勝ち負けに考えたりしてしまわないように気をつけたい。

話し合いでは、「1年生に楽しんでもらうためには?」「自分たちも楽しむためには?」という問題意識をもって大切な事から逸れないようにじっくりと考えさせたい。そして話し合い活動の経験を積み重ね、最終的には、合意形成して実践への期待感を高めていきたい。実践では、やって終わりにせず、振り返りを大切にして自己がどのように高まったか、学級が団結して一つの目標を達成できたかを振り返り、今後の学校生活の糧となるような集会になってほしいと考える。

4. 評価規準

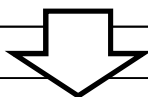
集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学級の身の回りの問題に関心をもち、他の児童と協力して進んで集団活動に取り組もうとしている。	学級生活を楽しくするために話し合い、自己の役割や集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、仲よく助け合って実践している。	みんなで学級生活を楽しくすることの大切さや学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の基本的な進め方などについて理解している。

5. めざす子どもの姿に迫るための手立て

研究テーマ

互いのよさを生かし合い、一人一人が輝く特別活動

～「なすことによって学ぶ」共に歩む姿をめざして～



低学年のめざす子どもの姿

- 自分の考えを伝えようとする子【自分に自信をもてる姿】
- 自分の考えや、友達の考えを大切に、めあてに向かって話し合おうとする子【仲間と共に歩もうとする姿】
- すすんで活動し、みんなと仲良く助け合い学校生活をよりよくしようとする子【自分たちの生活は自分たちでつくっていかようとする姿】

【自分の考えを伝えようとする子】(自分)

○学級会ノートの活用(事前・学級会)

学級会ノートには、自分の思いや考えを書き込めるようにする。教師が、必ず目を通し、意見を把握するだけでなく、励ましのコメントを書いたり、言葉かけをしたりすることで、自分の考えに自信をもって話合いに参加できるようにしたい。

【自分の考えや、友達の考えを大切にし、めあてに向かって話合おうとする子】(仲間)

○板書の工夫 思考の可視化(学級会)

- ・短冊を活用し、意見を分類、整理して比べやすくする。
- ・賛成、反対マークを貼り、話合いの過程や状況がわかるようにする。
- ・話合いの流れが分かるように示し、見通しをもてるようにする。
- ・「似ているものは何かな。合わせられるものはないかな。」と少数意見も尊重し、生かす工夫をする。
- ・それぞれの意見のよさを生かしてみんなが納得できるように折り合いをつけられるようにする。

○論点を整理し、合意につながる教師の働きかけ(学級会)

話合いを勝ち負けにしないで、多くの子どもたちの意見を生かして折り合いをつけていく話合いを目指す。本時の話合いの「わくわく なかよしかい」には、1年生一人一人とじっくり接する中で仲よしになりたいと考える意見や、みんなでたのしく活動する中でなかよしの気持ちを広めたいという意見が出ると予想される。そこで、子どもたちから出た意見を「楽しい」「みんなでなかよし」「一人一人となかよし」のキーワードで整理したい。教師からは、「1年生ともとなかよしになれるのはどっちかな」「友だちの意見のよいと思うところも聴きながら話合いましょう」と投げかけ、「なかよし」という言葉に注目し、話合いを進めるとともに、友だちはなかよしをどう捉えているのか考えさせながら話し合い、合意形成につなげていきたい。

○話し方、聞き方の掲示(常時)

- ・話し方を意識することで自信をもって発表することができるようにすることと、みんなに分かりやすい発表ができるようにする。

○司会グループによる事前の活動(事前・学級会)

- ・話合いの進め方について事前に確認し、話合いの流れを確認して安心して進められるようにする。

【すすんで活動し、みんなと仲よく助け合い学校生活をよりよくしようとする子】(生活)

○実践活動(事後)

- ・実践では、やって終わりにせず、振り返りを大切にして自己がどのように高まったか、学級が団結して一つの目標を達成できたかを振り返り、今後の学校生活の糧となるような集会になって欲しいと考える。
- ・実践で進んで活動していた児童を褒め、次回への意欲づけをする。

○クラス目標に立ち返る(事後)

- ・実践を通してクラス目標のどの項目に合っていたのか、クラス目標に近づくことができたかを確認し、称賛する。

6. 活動の実際

(1) 事前の活動

活動の場	活動の内容	評価(☆)と支援(○)
5月22日 (月) 朝の会	議題の収集・発見 今までの1年生との関わり(学校たんけんや運動会)を振り返り、1年生ともっとなかよしになりたいという思いが寄せられる。	○児童からの声を提案につなげていく。 ☆学級活動に関心をもち、学級をよりよくしようとしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)
5月23日 (火) 朝の会	議題の選定 昨日の話合いから、「もっとなかよしになる集会」をしたいという意見が出る。そして全員で議題を選定する。 名前を「わくわく なかよしかい」に決定。	
5月28日 (月) 朝の会	学級会ノートに自分の考えを記入する。	○1年生となかよくなる方法をいろいろ考えられるように今まで経験した遊びを振り返り、助言する。 ○一人一人が話合いのめあてを意識した自分の意見を書けるように助言する。 ☆「わくわく なかよしかい」の目的にあった意見を考え、判断し、ノートに書くことができる。〈学級会ノート〉 (集団の一員としての思考・判断・実践)
5月31日 (木) 朝の会	教師からのコメントが書かれた学級会ノートを受け取る。	○学級会ノートに励ましの言葉等を記入し、話合いの意欲を高める。
6月1日 (金) 中休み	司会グループで、議題と話合いのめあて、学級会の進め方について確認する。 出された意見を短冊に書く。	○司会グループの役割を説明し、イメージがもてるようにする。 ○司会の台本を提示し、話合いの流れをつかめるようにする。 ☆話合い活動の準備の仕方や基本的な進め方を理解している。 (集団生活や生活についての知識・理解)

(2) 本時の活動

①ねらい

1年生ともっとなかよくなるために、1年生のことを考えながら話し合い、友達の意見を聞いたり、合わせたりして話し合って決める。

②活動計画

児童の活動	支援 (○) と評価 (☆)
<p>1. はじめのことは</p> <p>2. 司会グループの説明</p> <p>3. 議題の確認 「わくわく なかよしかい をひらこう」</p> <p>4. 提案理由の確認 「1年生ともっと仲よくなって1年生をえがおにしたいです。そして、いっしょに、たのしい集会をひらきたいからです。」</p> <p>5. めあての確認 「1年生と仲よくなる楽しい集会にしよう。」</p> <p>6. 決まっている事の確認 ・日にち、場所 (体育館) うた1つ、プレゼント1つ (おりがみ)</p> <p>7. 話し合い 柱①あそびをかんがえよう</p> <p>出し合う (事前に短冊で掲示)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろおに・もうじゅうがりゲーム ・むかしあそび・リレー ・じゃんけんれっしゃ・おにごっこ ・音楽で名前こうかん・ばくだんゲーム <p>比べる</p> <p>まとめる</p> <p>8. 決まった事の確認</p> <p>9. 振り返り</p> <p>10. 先生の話</p> <p>11. 終わりの言葉</p>	<p>○司会進行は、話し合いの進め方が確認できるように台本を見ながら行う。</p> <p>○担任は、助言や補足説明など、必要に応じて行う。</p> <p>○提案者の思いが全員に共通理解できるように提案者に大きな声ではっきりと発表できるように助言する。</p> <p>○決まっている事は掲示しておく。</p> <p>○出された意見を短冊に要約し、まとめて貼る。</p> <p>○児童が事前に学級ノートに自分の意見を書いておくことで安心し、さらに、教師のコメントが自信につながるように励ましの言葉を書いておく。</p> <p>○話し合いのめあてから逸れた場合は、めあてを再確認するように声掛けをする。「仲よくなる遊び」はどんな遊びか想像し、「ともだちは、なかよしをどのようにかんがえているのか。」という視点で聞くように伝える。</p> <p>○わからない遊びについては、質問をして共有していく。</p> <p>○遊びをしているところを思い浮かべて、めあてに合っているか確認する。</p> <p>☆司会グループとして司会や記録などの役割を積極的に果たしている。(集団の一員としての思考・判断・実践)</p> <p>☆よりよいわくわくなかよし会に向けて考え、判断し、みんなでまとめようと話し合っている。(集団の一員としての思考・判断・実践)</p> <p>○自分の思いを持てたか、友だちの意見をよく聴けたかを振り返るようにする。</p> <p>○司会グループの頑張っていた点、めあてや友達を意識した意見や態度などを見つけて称賛し、意欲をもって実践できるようにする。</p>

③本時の視点

- ・1年生のことを意識して遊びを考え、話し合いに取り組んでいたか。

④板書計画

おわりのじゆば	先生から	ふりかえり	きまったこと	まとめる←くらべる←出し合う	はなしあひじゆば①	めあて	ていあんりゆう	わくわく	だい
				<ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな ○もうじゆうがりゲーム ○むかしあそび ○リレー ○じゃんけんれっしや ○おにじゆ ○せんおに ○音がくで名前ごうかん ○ばくだんゲーム 	<ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな ○おにじゆ ○おしよは体ごうかん ○うた…ドラえもん ○おりがみのプレゼント ○11のめあて 	<ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな ○もうじゆうがりゲーム ○むかしあそび ○リレー ○じゃんけんれっしや ○おにじゆ ○せんおに ○音がくで名前ごうかん ○ばくだんゲーム 	<ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな ○もうじゆうがりゲーム ○むかしあそび ○リレー ○じゃんけんれっしや ○おにじゆ ○せんおに ○音がくで名前ごうかん ○ばくだんゲーム 	<ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな ○もうじゆうがりゲーム ○むかしあそび ○リレー ○じゃんけんれっしや ○おにじゆ ○せんおに ○音がくで名前ごうかん ○ばくだんゲーム 	<ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな ○もうじゆうがりゲーム ○むかしあそび ○リレー ○じゃんけんれっしや ○おにじゆ ○せんおに ○音がくで名前ごうかん ○ばくだんゲーム

(3) 事後の活動

活動の場	活動内容	支援 (○) と評価 (☆)
6月8日 (金)	役割分担を決める。	<ul style="list-style-type: none"> ○これまでの経験を生かし、必要な役割を考えて全員で分担できるようにする。 ○わくわくなかよし会をひらくために必要な役割を考えるよう助言し、全員で協力して行うように声掛けする。
6月11日 ～ 6月14日	役割に基づいて準備をする。	<ul style="list-style-type: none"> ○みんなが仲よくなれる内容になるように活動を工夫できるように助言する。 ○協力して準備ができるように声掛けする。 ☆係の活動を協力して進めている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
6月15日 (金) 中休み	集会を実践する。	<ul style="list-style-type: none"> ○集会のめあてを掲示し、意識できるようにする。 ○楽しんで取り組めるように見守る。必要に応じて助言する。 ☆自己の役割や集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、仲よく助け合って実践している。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
6月19日 (火) 帰りの会	実践後の振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> ○振り返りカードにめあてに沿った実践ができたか？ クラス目標に立ち返り、なかよくなることができたか？を振り返る。 ☆活動に対する自分の取組や、学級全体としての取組を振り返り、集会の意義を理解している。 (集団活動や生活についての知識・理解)